

のぼのばかわら版

N421 楽オイル背縫い

横濱皮手から新商品の登場です。

富士グローブとのぼのばコラボ。

売れ筋のTOKOMAXの革を

使用し、非常に厚みがありながら

柔らかさを実現しています。

着脱しやすいように丈を短くし、

大きめの当てを付けました。

サイズはフリー、発売は9月頃

となる予定です。

是非お試し頂きたいです！

チラシ同封



N421

新製品

ウインジョブCP221

アシックスのベーシックモデル
CP201の後継品です。

CP221には、ソール内部に

アシックスの代名詞であるゲルを

搭載、ミッドソールはランニング

シューズでも使用されている材料

「FLYTEFOAM」を採用。

ベーシックながら他のモデルと

同等の履き心地を体感できます。

今までアシックスを履いたこと

がないユーザーさんに対しても、

初めての入り口になる商品です。

9月中旬頃発売予定です。

チラシ同封

020 グラベル × ホワイト



新製品



CP221

001 ブラック × ブラック 100 ホワイト × マコブルー

HK-677 タフガード

ニトリル 50枚入り

ニトリルディスプレイの新商品です。

コロナ以降、一時期は店頭売価

で二千円台まで上がりましたが、

今回は千円前後の売価です。

サイズはM・L・LLをご用意。

在庫しますので一度ご検討の程

よろしく願います。チラシ同封



HK-677
タフガード

新製品

Tuff Guard

HG-221 エアット

生地にストレッチ素材を使用した新しい作業靴です。

キャンバス生地従来品に比べ

伸縮性に優れ、しゃがみ作業時の

屈曲の負担が大幅に軽減されます。

包み込むような独特のフィット

感も新しいです。

新製品

HG-221
エアット



在庫サイズは25・27・28センチ。入れ替えの少ないジャンルでの新商品は貴重です。

この機会に是非、在庫のご検討

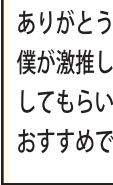
をよろしく願います！

チラシ同封

働くのばちゃん Vol. 428



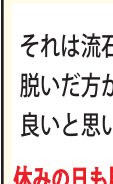
商品管理の千葉です！
HG-221、とても
柔らかくて、履いてる
感じがしませんね！



ありがとうございます！
僕が激推しして在庫に
してもらいました！
おすすめです！



フィットすぎて
1週間くらい
靴脱いでません！
千葉です！



それは流石に
脱いだ方が
良いと思います ...

休みの日も履いてるの？

投げる

「のぼお」は中学高校とサッカー部に所属していました。

サッカー部の友達が多ていてのを見たからです。

明るく爽やかスポーツマン。

でも、ちょっとワルな雰囲気も持ち合わせてる、。

「自分もあんな風にモテたい」と思ったのです。

でももう一つ理由がありました。それは、やたらと近視が進んだ事です。

小学校の時にはソフトボールをやっていたが大きなボールなのに見えにくくなってしまったのです。

メガネをしてスポーツするのは格好悪いと思ってしまったのです。少しでも大きいボールを求めてサッカー部に入ったのです。



さて、先日遠方からお得意様がお来店されました。

「のぼお」は、久しぶりにお会いしたその方達と、昼も夜も楽しい時間を過ごしました。

さて、晩御飯に居酒屋に行った後、若者達はどう一軒です。

「のぼお」は結構酔っていました。が負けず嫌いです。

フラフラしながら着いて行くとなんと！ その店は「ダーツバー」だったのです！

「マジか、ヤバい、」

「のぼお」は血の気が引くように青ざめました。

「飲みまくってごまかすしかない」しかし、お得意様の若い女の子が

「のぼおさん！次はのぼおさんの番ですよー」

と、可愛らしく言ってきたのです。「なんだよコイツ！ 可愛いからつていい気になりやがって！」

実は「のぼお」は「ダーツ」が苦手なのです。

目が悪くなってから小さいものは触らなくなったので「投げる」行為もしていません。

ダーツの「矢」はソフトボールよりずっと小さい、

「のぼお」は意を決し投げました。

「えいっ！」

「ポヨーン」

「矢」は、お隣のブースに飛んで行きました。

「ハハハ、久しぶりで鈍ったかな」

「えいっ！」

「ポトツ、」

全く届きませんでした。

「あれっ？ もっと強くだな」汗

「えいっ！」

そして、次こそは！ と目一杯力を入れ投げたのです。

「ダンッ！」

「うわあー」

「矢」を真下の床に叩きつけてしまったのです！

それ以降、何度やっても「矢」を地面に叩きつけてしまう。

「お隣に飛ぶ事」や「届かない」と比べて一番バカみたいです。



モノを投げるのはやめよう！

礼儀になってないじゃないか！



そういえば高校時代、休憩時間にクラスの仲間が「野球をやるう」と言い出した事がありました。

二塁手になった「のぼお」は、目の前に転がってきたボールを、一塁に投げようとした時も地面に叩きつけた事がありました。

恥ずかしかったです。

「あれ以来、モノを投げていない」

「大きさも重さも違うモノをどうやって投げると？」

「手からいつ離すの？」

「力加減は？」

「のぼお」は「モノを投げる」事が、トラウマになっていたのです。

「もう今後は、モノは投げるのはやめよう」

と、何となく普通に正しいような事を思ったのです。